



## 谷 宏 「合成開口レーダ(SAR)による作物生育のモニタリング」

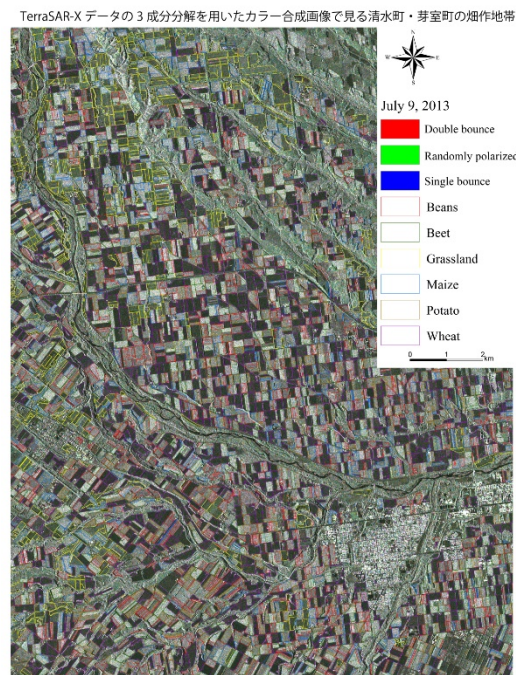
農学研究院基盤研究部門・農業土木学研究室

email: tani@env.agr.hokudai.ac.jp

内線 2553、研究室HP <http://lab.agr.hokudai.ac.jp/eco-env/>

出身地 山口県

- 農作物の草高やバイオマス、水分量を人工衛星リモートセンシング技術を用いて推定します。収量や収穫適期の予測に使用が可能です。
- 天候に左右されず、また昼夜を問わず観測が可能な合成開口レーダ(SAR)を利用するため、従来の光学センサでは困難であった条件でも観測が可能になります。
- 各種作物のモニタリングの結果を用いた収量予測や小麦生育早晚マップ作成へ活用できます。



### <社会実装への可能性> (3点以内)

小麦穂含水率マップ

テンサイの根重マップ

作付作物分布図